

大好きな  
岡山県!

# 子育て応援特集!

## 一井あきこさんに聞きました!



人が出ていかない、帰ってくる、やってくる岡山県

みんなが「大切なもの」を持てる岡山県

あなたと変える岡山県

の実現のために

一井あきこさんは、  
大好きな岡山県のために働きたい!  
という思いで、県議会議員を志しました。

毎日  
がんばって  
ます!



いちい  
**一井あきこ**

**岡山県議会議員**



一井あきこさんは、高校を卒業するまでずっと  
岡山市で育ちました。1年浪人して東京大学法学部に進んで中退、  
政治家秘書や、地中美術館で働きながら放送大学を卒業しました。  
環境や文化、まちづくりのNPO活動や、行政評価や行政経営にも  
普通の市民の立場で取り組んできました。

2007年4月に、岡山県議会議員に初当選。

これまで、子ども応援特別委員会や、環境文化保健福祉委員会に所属して、  
子どもの問題をテーマに活動しています。

### 一井あきこさんのプロフィール

1970年1月22日生まれ

学 校: 岡山聖園マリア幼稚園卒 / 岡山市立弘西小学校卒 /  
岡大教育学部附属中学校卒 / 広大附属福山高校卒 /  
東京大学法学部中退 / 放送大学教養学部卒

仕 事: 参議院議員一井淳治秘書 / 地中美術館 / 衆議院議員津村啓介秘書

ホームページ: <http://www.ichii-akiko.net> **一井あきこ** 検索



一井あきこさんに会ってみたい、  
話を聞いてみたい、と思われた方は..

日時 **3月21日**(月・休) 午後2時~

場所 **岡山ふれあいセンター**  
(岡山市中区桑野715-2 TEL:086-274-5151)

に来てください!



未来へつなく  
私たちの約束

民主党岡山県連は

「ローカルマニフェスト~未来へつなく私たちの約束」を発表しました。

一必ずかなえる!「3つの約束」一

- ・いつでも30分あれば、子どもが預けられるようにします。
- ・60歳代はまだまだ現役。いつでも働けるようにします。
- ・車が運転できなくても、週に2回は自分で買い物や病院に行けるようにします。

○詳しくは民主党岡山県連HPへ <http://www.minsyu.org>

民主党岡山県連は、一井あきこさんを  
県議会議員選挙に向け、公認しています。  
みなさんに、一井あきこさんの  
プロフィールや政策をご紹介します。

2011年3月3日  
**民主**号外  
PRESS MINSHU  
民主党プレス民主編集部  
〒100-0014  
東京都千代田区永田町1-11-1  
電話:03-3595-9988  
URL: <http://www.dj.or.jp>  
平成9年4月25日第3種郵便物許可

連絡先: 民主党岡山県総支部連合会  
〒700-0837 岡山市北区南中央町1-9 TEL:086-227-5100

郁美ママ

# 教えて！子どもたちのこと、どう考えてるの？

## ー井あきこさんに聞いてみました♪

子どもを育てていると、心配なことや困ることがいろいろあります。

ー井あきこさん(県議会議員)は、子どもたちの問題をどうしようとしているのかな？

郁美ママが突撃インタビューしてみましたよ。



ー井さん 夜とか小さな子どもが留守番させるわけにもいかないし、大変ですよね。そんなときや、急な用事ができたとき、働いているママだったら仕事が続いてお迎えが遅れるときに、「いつでも30分あれば子どもが預けられるようにしよう」と考えています。例えば、延長保育や預かり保育、保育ママなど、今ある制度も拡げて活用します。病気のときは子どもを預かってもらえなくて困っています。「このママの声をたくさん聞かなくて、病気が病み上がりの子ども預けられるようにしないといけない」と思っています。

ー下の子を病院に連れて行くときに、上の子をどうしようか困ることがあります。



ー井さん 特に小さいときは心配ですよね。夜とか緊急な場合にも、相談できる場所があったり、すぐに連れて行ける場所があれば安心だと思います。簡単にかけられる電話相談や、地域のお医者さんの当番と大きな病院の救急を組み合わせて、いつでもカバーしてもらえ、しくみを、もっときちんとしたものにしていきます。

ー子どもって、急に病気になることがあるから心配なんですか…

みんなが幸せに暮らせるように努力するわ！

いろいろな声を聞いてみるのね！



ー井さん 罪のない子どもの命が、親や身近な人によって奪われたり傷つけられたりするの、あってはならないことです。スピーディな対応をするために、児童相談所のスタッフ・専門家の数を増やしたり、地域とのつながりを強めたり、といったことは進み始めています。これからは子どもを保護した後のケアや親子関係を直していくところに、子どものため、という目線から、もっと力を注いでいきます。岡山県では、そもそも虐待が起きる原因を調べて解決するための情報分析も始めました。(実は、私が県議会で提案して、実現したんですよ)

ー子どもの虐待は大きな問題だと思っています。



ー井さん 早く気づいてその子に合った療育をしてあげることが大切ですね。だから1歳半健診や3歳児健診の意味は大きいし、母親学級などで妊娠中から発達障害についてももっと知ってもらえるようにしていきます。発達障害のある子どもたちの数に対して、それぞれに合った療育を受けられる場所の数はまだまだ足りません。学校を卒業した後、社会の中で働きながら暮らしていけるようにトレーニングする場所も足りません。パパ・ママやまわりのおとなが相談できる場所も足りません。保育園や幼稚園、学校の先生たちも、近所のおとなたちも、発達障害についてはよく知らない、分からない、という人がまだまだ多いので、知ってもらえる機会も増やしていきたいと思っています。

ー最近、発達障害のお子さんが増えてきているんですね。

郁美ママの感想  
議員さんって私たちの気持ちがあつたのかな？と思っていました。お話を聞いてみて、すごく身近になりました。「子どもたちに『毎日楽しくない』『将来の夢がない』なんて思いをさせたくないです」というコトバには「賛成」です。



ー井さん まじめに相談したいときもあるし、ママ友とおしゃべりしたいとか、よそのお子さんと一緒に遊ばせたいとか、ありますよね。ずっと子どもだけ家にいたら煮詰まっちゃうこともあるでしょうし、公民館などにある「おやこクラブ」や大学・短大が地域の方たちと開いている「子育てカレッジ」がもっとお役に立てるといいですね。パパがもっと一緒に子育てしてくれたら、と思うママもいっぱいいます。夫婦のコミュニケーションが増えることも大事だけど、パパの育児とか、制度の側から応援できることもたくさんあるのでがんばります。

ー誰かと子育ての話をしたいなとか、子どものお友達ができるとういな、と思つておられるのですが…